

2022年11月7日

## 従業員の脱炭素行動に向けた学びとアクションを促す 社内参加型ラーニングツールの実証実験へ参加



京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、株式会社電通国際情報サービス（本社：東京都港区、代表取締役社長：名和 亮一、以下 ISID）が開発するアプリケーション「DayTree（デイ・ツリー）（仮称）」β版の実証実験に参加いたしました。

京都中央信用金庫は、地域の脱炭素対応に関する支援を行う金融機関として、今後も引き続き、有意義な顧客支援の方策について検討・研究してまいります。

### 記

#### 1. 実証実験の概要

「DayTree」は、ISIDが開発中のスマートフォンアプリで、脱炭素に関する教育コンテンツの配信機能と、従業員が行ったエコアクションを投稿・シェアする機能を備えます。当金庫の職員が日常生活で「DayTree」を活用することにより、意識改革や行動変容にどのような影響を与えるかを検証する実証実験に参加いたしました。

※「DayTree」の詳細については、ISIDのニュースリリースをご確認ください。

(URL:<https://www.isid.co.jp/news/release/2022/1027.html>)

#### 2. 参加期間

- ① 2022年7月6日～7月19日（参加者数83名）
- ② 2022年9月2日～9月23日（参加者数125名）

#### 3. 参加目的

今回の実証実験は、職員の自主性や能動的なチャレンジ等を重んじるプロジェクトの一環として、金融機関による顧客の脱炭素支援の方法を模索するため参加を決定いたしました。

世界的に脱炭素対応への関心が高まる中、企業・組織の脱炭素行動への機運を高める施策の一つとして、各個人の脱炭素行動を啓発するアプリの開発に意義を感じて参加したものです。

#### 4. 参加後の感想

実証実験に参加した職員からは、

・『脱炭素』と言われるとなんとなく身構えてしまうが、具体的な行動例が挙がっていたり、削減できるCO2の量が可視化できたりして、ゲーム感覚で参加できた」

・「コロナ禍で大人数での行事参加等ができない中、ひとりひとりの活動を共有できる良い機会になった」

といった声が聞かれました。

《実際に投稿された写真等の例》

